

座談会

公共交通空間をどう作っていくか

平成29年9月22日
京成バス株式会社
常務取締役 木下良紀



京成バス(株) 会社概要 (1)

- ・ 営業開始 平成15年(2003年)10月
- ・ 資本金 2,005 百万円
- ・ 株主 京成電鉄(株) 100.0%
- ・ 本社 千葉県市川市
- ・ 営業地域
 - － 路線バス: 東京都東部・千葉県北西部
 - － 高速バス: 成田空港・東京駅・東京ディズニーリゾート®・幕張新都心より各地へ運行



京成バス(株) 会社概要 (2)

- ・ 営業収益 21,983 百万円 (平成28年度実績)
- ・ 輸送人員 99百万人 (同上)
- ・ 車両数 834両 (平成29年3月31日現在)
- ・ 従業員数 1,595人 (同上)
- ・ 営業所数 8営業所 2出張所 (同上)



自己紹介

・ 木下 良紀（きのした よしのり）

- － 昭和41年（1966年） 東京都葛飾区生まれ
千葉県八千代市で育つ
- － 平成元年（1989年） 京成電鉄(株)入社、自動車本部配属
- － 平成15年（2003年） 京成バス(株)営業開始に伴い、同社
に転籍、営業部運行課長
- － 平成19年（2007年） 同社 営業部長
- － 平成23年（2011年） 同社 取締役営業部長
- － 平成26年（2014年） 同社 常務取締役（営業、業務担当）
- － 平成28年（2016年） 同社 常務取締役（総務、運輸安全
推進室、BRT担当）、現在に至る

職場の状況



現在の担当業務

- ・ 総務担当
 - － 総務・人事
- ・ 運輸安全推進室担当
 - － 安全統括管理者
- ・ BRT担当
 - － 平成27年(2015年)9月
東京都「都心と臨海副
都心とを結ぶBRT」の運
行事業者に選定された



臨海副都心地区全景
(出典: 東京都HP)

これまでに手掛けた主なもの(1)

- ・ 環七シャトルバス
 - － 東京都江戸川区の南北交通の課題を改善するため、平成19年(2007年)運行開始
 - － 江戸川区地域公共交通活性化協議会を設置
 - － 平成21年「第1回 地域公共交通活性化・再生優良団体 国土交通大臣表彰」を受賞



金子国交大臣を囲んで記念撮影
(出典:江戸川区HP)

これまでに手掛けた主なもの(2)

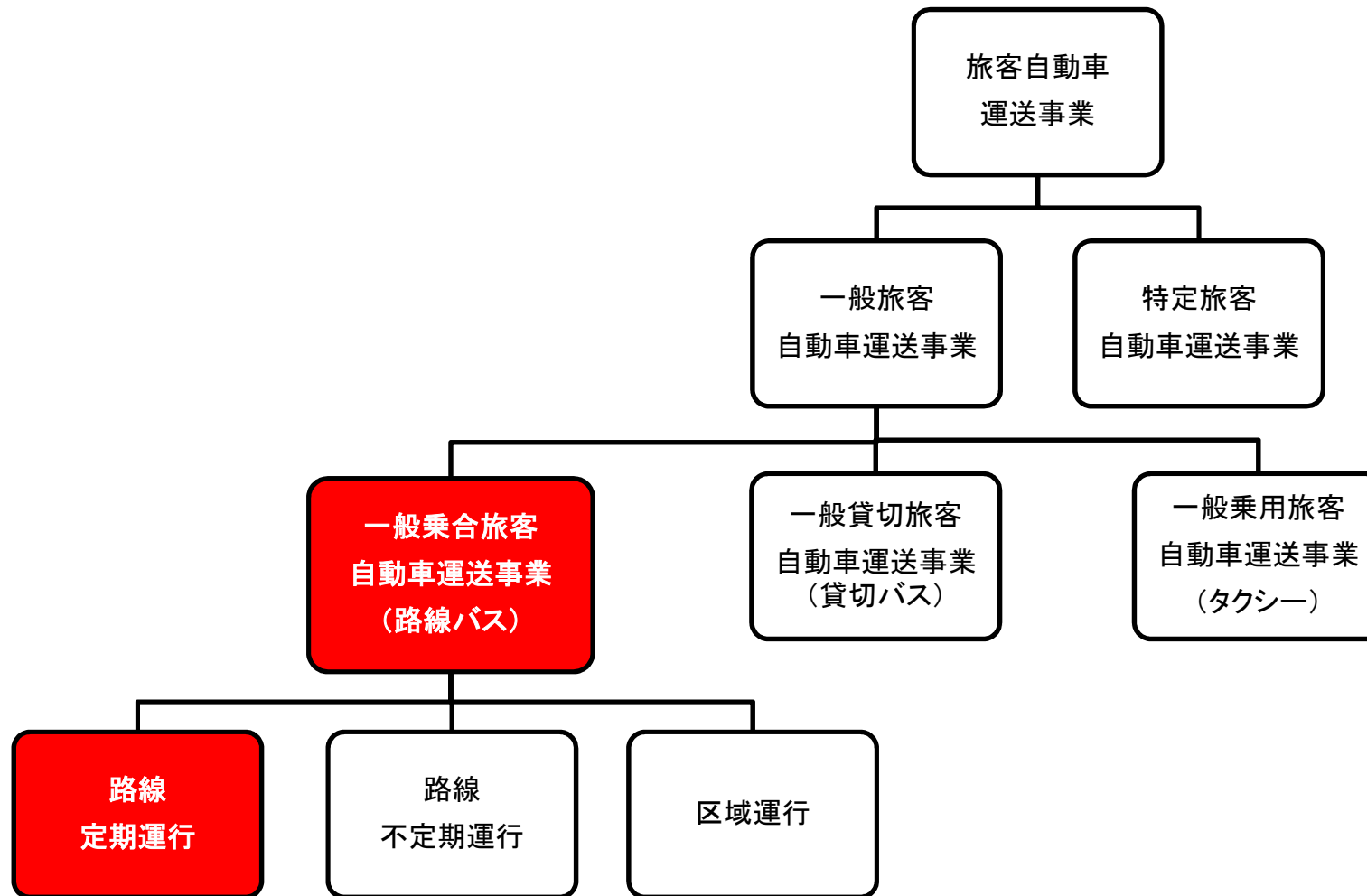
- ・ 東京シャトル
 - LCC(格安航空会社)
国内線の成田空港
就航を受けて、
平成24年(2012年)
運行開始
 - LCC航空運賃にふさ
わしい低廉運賃で、
東京駅と成田空港を
結ぶ
 - 本年7月、お客様累計
500万人を達成



路線バスとは

- ・ 一般乗合旅客自動車運送事業の路線定期運行に該当
 - － 他人の需要に応じ、有償で、自動車を使用して乗合旅客を運送する事業（道路運送法第2条・3条）
 - － 路線を定めて定期的に運行する乗合旅客の運送（同法第5条）
- ・ 公道上に路線を定め、バス停を設置し、運行ダイヤを決めて運行

【参考】道路運送法による分類



路線バスの性質

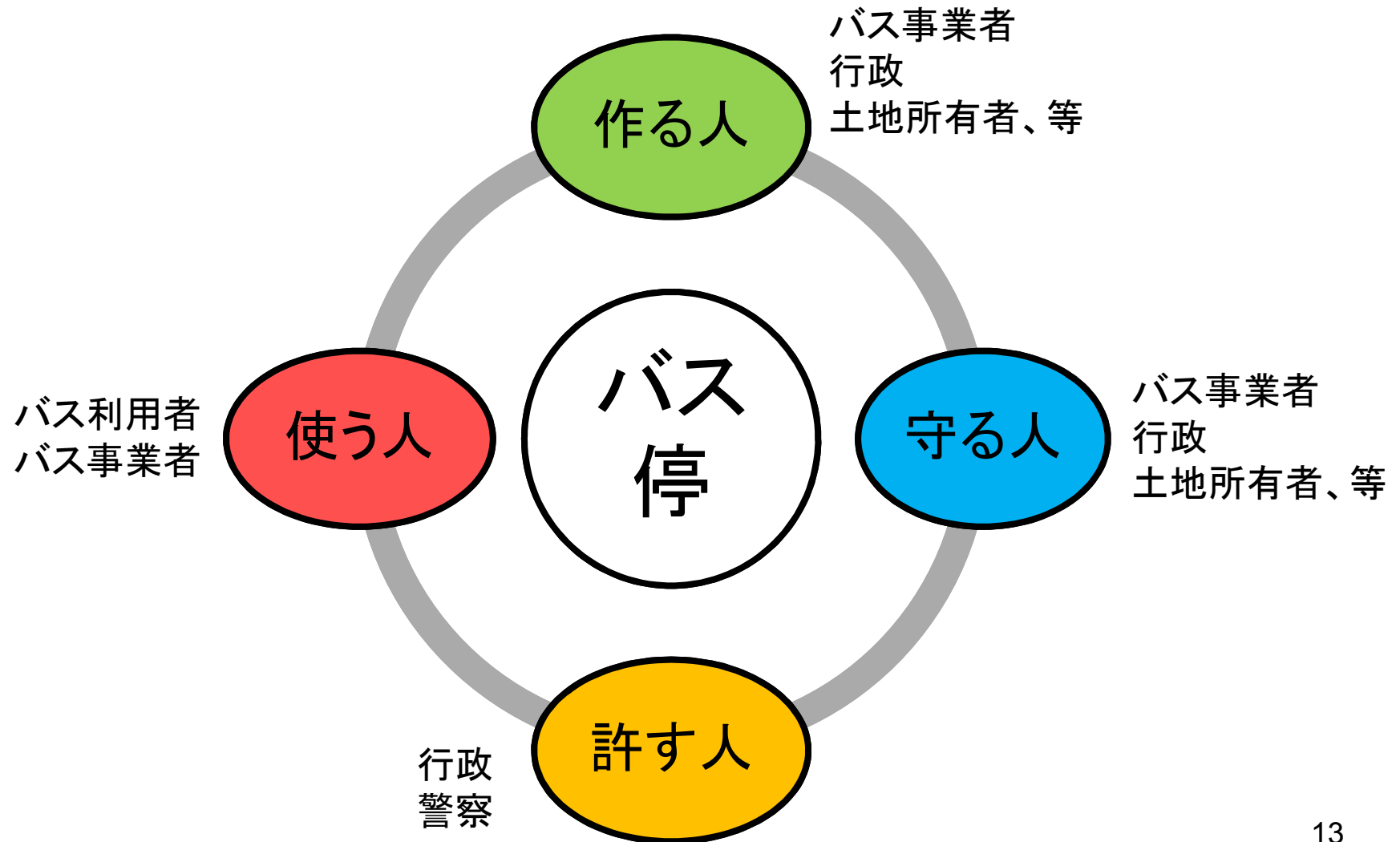
- ・ 路上から直接利用できる。
 - － 垂直移動がない
 - － 手軽に利用できる
- ・ 公道を一般交通（車両・歩行者・自転車等）と共用する
 - － 路線の新設・改廃が比較的容易
 - － 運行は道路渋滞の影響を受ける
 - － バス停は与えられた物理的条件の中で設置
 - ・ バス停をバス利用者本位に設えにくい事情がある

バス停について

- ・ ほとんどのバス停が公道・交通広場に設置されている
 - － 例外は浜松町バスターミナル、東京シティエアターミナル等のバスターミナル



バス停に関する人



快適なバス停空間づくりには

- ・「作る人」「許す人」「使う人」「守る人」の連携・協働が不可欠

バス事業者

・ 作る人、使う人、守る人

バス利用者

・ 使う人

行政

・ 作る人、許す人、守る人

土地所有者

・ 作る人、守る人

警察

・ 許す人

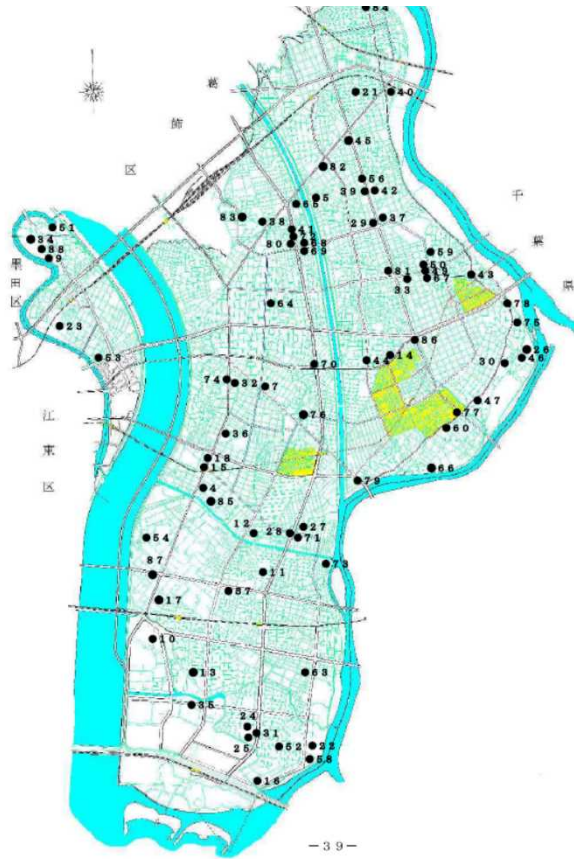
取組事例

江戸川区ポケットパーク(1)

- ・ ポケットパークとは、ポケットほどの小さな公園の意味で、都市生活の中での潤いや休憩のために整備された比較的小規模な空間(出典:江戸川区HP)
- ・ 江戸川区では、昭和57年(1982年)より整備を進めており、公有地に限らず民有地の借用も含めて、バス停を中心に約80箇所が整備されている

江戸川区ポケットパーク(2)

ポケットパーク位置図



※資料・写真提供:江戸川区

片山病院バス停



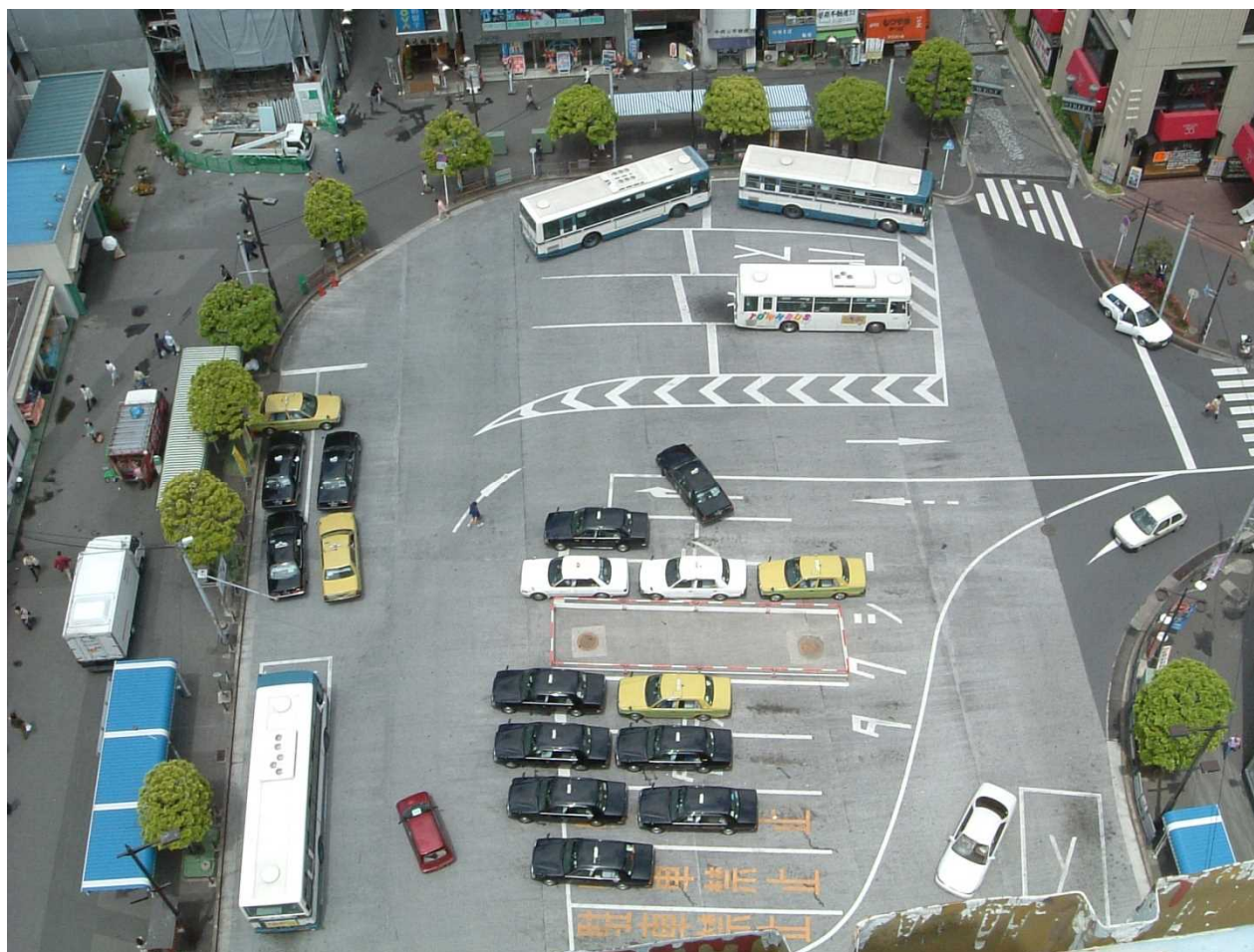
松本弁天バス停



JR総武線市川駅北口交通広場

- ・ 平成19年(2007年)再整備までの流れ
 - 平成14年(2002年)
「市川駅北口周辺振興整備計画策定懇談会」
発足準備会開催
 - 平成15年(2003年)
「**元気！市川会**」発足、千葉県市川市に「市川駅
北口周辺振興整備計画」を提言
 - 平成16年(2004年)
市川市と元気！市川会との間で「**市川駅北口周
辺まちづくり協定書**」を締結

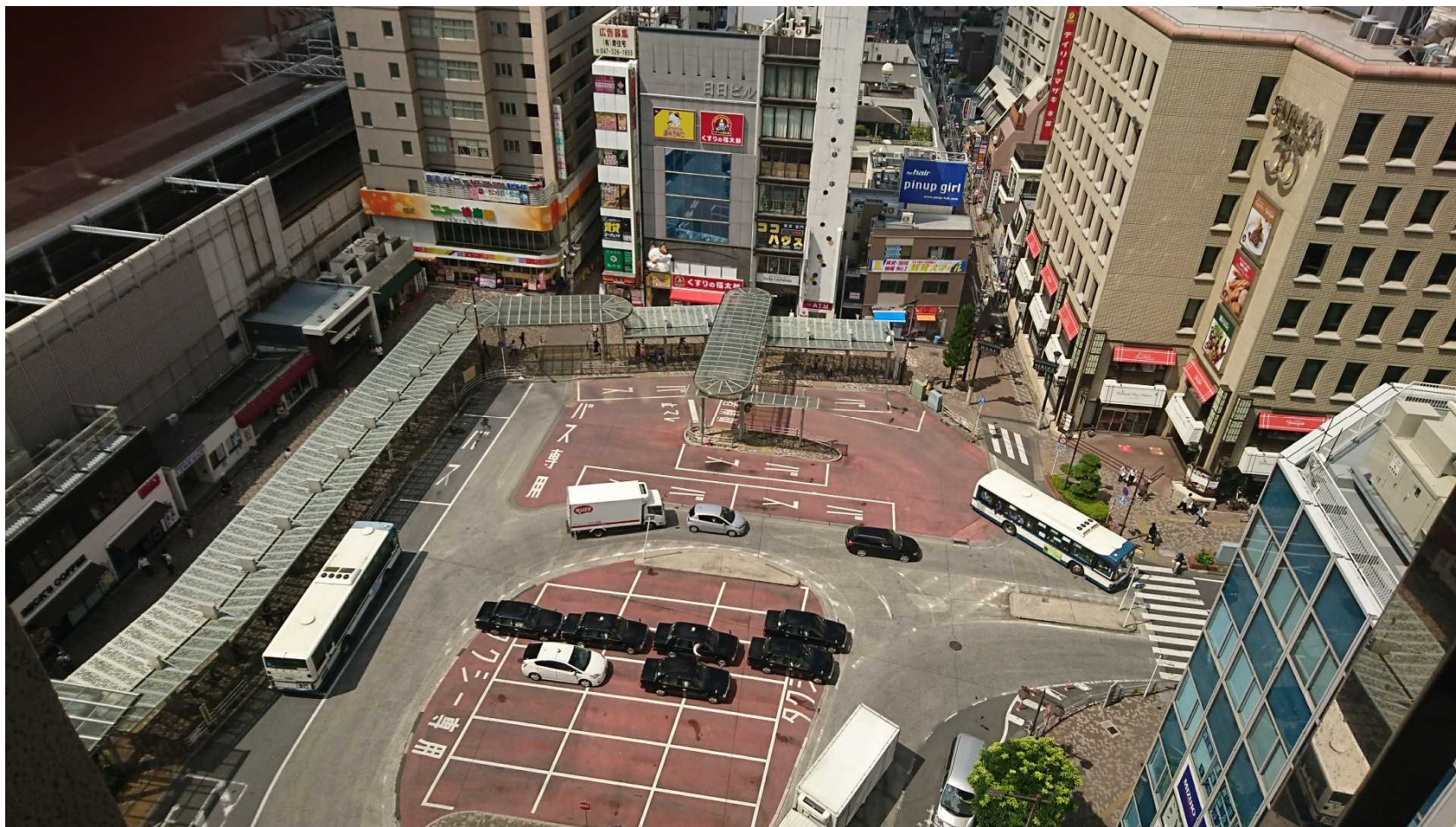
再整備**前**の市川駅北口交通広場



平成15年5月撮影

※写真提供：株式会社市川ビル

再整備後の市川駅北口交通広場



平成29年9月撮影

元気！市川会(1)

- 基本理念

- 千葉県の玄関口として風格・活気・賑わい溢れる街づくりの推進

- 目的

- 市川駅周辺地域の**産学官民**のキーパーソンが一堂に会し、街を「つくる」「育てる」「再生する」を継続的に実行する

元気！市川会(2)

- ・ 行政等との協働の積み重ね
 - 「意見を言うだけでなく、地域のパブリックコメントを纏めるために汗をかき、地域の有志企業からの協賛をいただく」との姿勢を貫き、平成15年の提言でも、行政にお願いする7項目の他に、当会が主体的に取り組む9項目を列举して、行政と協働実行
 - その後も新たな目標を立てて、継続実行してきている活動の歴史

元気！市川会(3)

- ・ 代表
 - － 田平 和精 氏 (株)市川ビル社長
- ・ メンバー
 - － 行政(市川市、千葉県)
 - － 町内会(7組織体)
 - － 大学(千葉商大、和洋女子大)
 - － 警察(市川警察署)
 - － 民間企業(当社、他12社)

産学官民の
横断的な
組織体

「作る人」
「許す人」
「使う人」
「守る人」
が含まれる

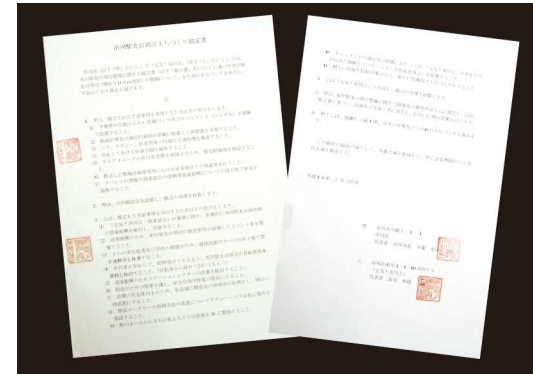
元気！市川会(4)

- ・ 主な活動
 - － ガーデニング・ボランティア活動
 - － 駅周辺歩道の自転車駐輪マナー改善活動
 - － 駅前広場イルミネーションの設置・運営
 - － 駅前広場シェルター・舗道の清掃
 - － 地域情報放送設備の建設・運営
 - － ウェルカムボード(3色LED文字放送盤)の建設・運営

市川市と協定締結



まちづくり協定書



元気！市川会メンバー
(平成20年当時)



シェルター・歩道の清掃作業

※写真提供：株式会社市川ビル

ウェルカムボード



ガーデニング



ラッピングバス



ガーデニング



自転車マナー啓発

ご静聴ありがとうございました。

